



★CONTENTS★

- はじめに ■姉妹都市親善交流
- 大学入試試験にもやっぱり多読？
- 新着情報・お知らせ ■今月の誕生日
- 高学年ビギナークラス開講
- Homestay in America

はじめに

日本人の英語習得率が低い理由に、「英語の必要性を感じていない」という事がよく挙げられます。80年代のバブルでイケイケの時代はその言い訳が通じたかもしれません。海外旅行に行ったときに買い物ができる程度の英語力があれば100点満点、そんな時代でした。

でも今は、サバイバルのために英語が絶対必要な時代になっているように思います。「試験のための英語」どころではないのです。2023年も世界では紛争が絶えませんでした。これは他人事ではありません。なぜかという日本の周りは「すべて」が、欧州や北米では「超危険国家」とされているところだからです。日本は地政学的にイスラエル以上に厳しい状況です。ロシアと日本は領土紛争を抱えています。ロシアはすぐそこです。中国と台湾の関係も非常にデリケートな状態です。つまり有事が発生し、日本人が避難民になった場合、英語ができれば自分も家族も不利な立場になるのです。まさか避難民なんて・・と思うかもしれませんが、世界の大多数の人口は、いつ避難民になるかもしれないという現実と向き合いながら生活しているので、日本だって例外ではないのです。

そして海外で働かなければならなくなったら、英語ができれば工場の流れ作業、農場、警備員など何とか仕事ができます。実際、アメリカでは人手不足で大変な状況です。働き手がなく、多くの小売店やレストランが閉業となっています。英語ができて健康であれば働き口は見つかります(もちろん合法に働くビザは必要ですが)。

今の日本は本当に恵まれた環境です。最低限中高6年間も英語を学ぶことができ、教科書は政府から無料配布される。本屋には莫大な数の英語教材が並び、ネットでも無料の動画や無料指導が大量にあり、日本には検閲がないので何でもアクセスできます。英語学習者にとってはパラダイスです。

このように恵まれた環境を活用し、将来に絶対役立つ英語というスキルを一人でも多くの人に身に付けていただきたいと願っています。

●《重要》翌月からの各種変更(休会・退会など)の手続きの届出締切日は20日までです。お間違いのないようお願い致します。一部欠席された場合、あるいは20日までに休会・退会のご連絡がなかった場合、特別な理由を除き後からの払い戻しはできませんのでご了承ください。

●2024年度の新学期割を配布しております。ご確認の上、新年度クラス申し込み用紙に、第2希望(あれば第3希望まで)までを書いてご提出ください。締め切りは2月3日(土)です。メールでも結構ですので、期日までにご希望クラスをお知らせください。

●帰国子女や国際ファミリーを対象にしたバイリンガルクラスの受講生を募集中です。英語力維持を目的としたクラスです。ぜひお知り合いの方でバイリンガルクラスをお探しの方がいらっしゃいましたら、当教室をご紹介ください!

●2月23日(金・祝)は通常通り授業がございます。お間違いのないようお願い致します。

●【多読と多読アプリ説明会】「英語で多読に興味があるけれど、もう少しアプリや多読について知りたい」そんな方のために説明会を企画しています。興味のある方はお知らせください。
日時：1月31日(水) 午前11時～12時 あかしあ台教室

●南ウッディタウン駅前校の建物前のスペースは駐車禁止です。お車で送迎の場合は、エルムプラザの駐車場をご利用下さい。また、駐車場は危険ですし、他の店舗さんの迷惑になりますので、授業後は速やかにご帰宅ください。

●《2月～3月の補講日》振替の予約をキャンセルする場合は、確認メールよりお手続きください。

スーパーキッズ	14:55～15:25	2月10日(土) 3月2日(土)
キッズ①&①+	14:55～15:25	2月24日(土) 3月16日(土)
キッズ②&②+	18:20～18:50	2月20日(火) 3月12日(火)
キッズ③&③	18:20～18:50	2月27日(火) 3月19日(火)
キッズ④+ / 中学生	14:00～14:30	2月10日(土) 3月2日(土)

ARK ACADEMY



フェイスブック インスタグラム ホームページ 補講予約ページ

〒669-1323 三田市あかしあ台4-8-1
Tel: 079-563-3132 / info.ark.academy@gmail.com

アークアカデミー英会話教室

1月14～15日に実施された大学共通テストが行われました。受験生の皆さんは100%の力を出し切る事ができたでしょうか?

英語に関しては、今まで一番難しいテストとなったそうですが、文章自体はいたって平易。英語ネイティブ2～3年生くらいの難易度です。ただ量が増えたのと、英語能力というより情報処理能力が問われている感があり、時間が足りなかったという感想が多いのも頷けます。返り読み訓練ばかりしているとdecoding(解読)はできて、リーディング力は伸びません。

5年10年の長期的なトレンドでは、大学共通テスト英語は今より簡単になることはまず無く、更に分量が多く、スキミング力、語彙力事務処理力が必要の問題になり、10年後には就活でTOEICは用済みになり就活で共通テスト英語のスコアを提出する時代が来るかもしれません。実際、来年度からのテストは更に難化し、単語の難易度も読むスピードも格段に上がるので、多読を始めるのなら早い方がいいです。英語を英語で処理できる英語脳が訓練されると同時に、受験対策にも直結します。現に多読に取り組んでいる小学生に今回のテスト問題を讀ませてみたら、頭から文を読み、問題も答える事ができていました。

入試試験における今後の対策としては、試験問題を時間内に解くためのテクニックを養うことに重点を置かれるような気がします。本来は言葉を勉強するのであって、試験問題を時間内に解くためのテクニックを養うことではないはずです。英語がますます受験の為に英語になってしまうのではないかと危惧しています。大量の問題数をこなす事ができても、使える英語がみつかなかば疑問です。テクニックばかりで練習する時間が圧倒的に少ない、そんな感じもします。スポーツだって音楽だって、論理ばかりで実際に体を動かして練習しなければ身につけません。英語も同じです。

基本から実践と幅広く網羅している多読。音や文法などまったく違う言語である英語を学ぶ日本人にとって、まずは英語を英語で処理できる脳にするための矯正作業が必要です。その作業に圧倒的な力を発揮するのが多読です。多読はいつからでも取り組めますが、小学生から始める事をお勧めします。小学6年生までに、今回の共通テストレベルの文が読めるようになることが理想ですね。中学や高校になると、テスト勉強や部活で本当に忙しくなり、多読のように結果がすぐに表れない学習法は、どうしても優先順位が低くなってしまいます。中学生になるまでに読む習慣をつけていけば、毎日10分～15分の取り組みを継続する事が苦でなくなります(面倒くさいと思うかもしれませんが、淡々と取り組む事が大切です)。毎日10分～15分の取り組みが、結局は効率的・効果的に英語力アップに繋がります。試験を前提とした読解(decoding)テクニックを学ぶのも決して悪くはありませんが、それらに費やす時間と労力を、読む(reading)ための練習に使う事ができれば、試験対策に繋がるとともに、使える英語がみつきます。

今回の共通テストを見て、ますます多読の重要性を実感しています。まずはアルファベット、次にフォニックス、そして基本的なサイトワードと進めていき、多読へ繋いでいきましょう。3～4年生から始めてみるのがベストとは思いますが、個々のお子さんの文字認識にあわせて始めるタイミングを検討してみてください。長文を早く正確に読めるようになるのに必要なのは、テクニックではなく練習です。時間をテコにできれば、無理なく練習を積む事ができます。

多読の説明会を1月31日(水)に予定しています。興味のある方は気軽にお問合せ下さい。



「小学生ですでに英語嫌いが急増中」というニュースが話題になりましたが、中学生の英語嫌いは私が思っている以上に深刻な状況のようで、胸が痛くなっています。

小学校から英語が教科化され早3年になりますが、高学年が取り組む英語は3、4年生に比べて、内容が格段に難しくなっています。以前は中学1年生で習っていた内容が前倒しされ、特に文法などの説明もないまま、学校の授業は進んでいます。英単語数も小学校5～6年生のうちに600～700語を習得することが目標とされています。難しいと感じるのは当然かもしれませんがね。

英語教育関係者と話しをしていても「中学の入学段階ですでに英語アレルギーになっていて、つまずいている子が多い」と口を揃えて言います。英語に抵抗感を持った状態なのに、小学校である程度は履修済みとして続きの内容を進めようとするので、中学校でもっと英語が嫌いになり、わからなくなってしまう子がものすごく増えています。特に中学生の1学期が、その後の英語との付き合いの明暗を分けるらしく、ここで英語嫌いになると、苦手意識をず～と引きずる事になります。

そもそも人の脳は、小学4年生以降ようやく抽象的な論理や理屈が少しずつ理解できるようになっていきます。だから英語も、文法理解での学習法は小学校高学年段階ではまだハードルが高く、中学生になっただけでようやく文法を受け入れられるようになるわけです。つまり、日本の学校教育でこれまで採用してきた文法や暗記を重視するスタイルの英語学習法は、中学生だからこらうじてできた方法なのです。小学生にこれまでの中学1年生の英語の内容を教えるのであれば、体験やストーリーの理解といった、より感覚的な形に変えて「今わかる、今できる」ものにしてあげなければいけません。英語嫌いの増加の原因は「小学生と中学生では脳の成長のタイミングが大きく異なるということを考慮しない設計になっている為」といっても過言ではないと思います。

こうした国家主導型子供英語教育の設計ミスの被害者を一人でも減らしたい！英語嫌いを一人でもなくす！そうした強い思いが、今年も開講する「高学年ビギナークラス」に込められています。お勉強になってしまう前に、感覚的に「今わかる、できる」楽しい英会話を体験することで、言葉としての英語の素地をまず育む事を目標にします。そして基本的な読み書きの練習をすることで、中学英語へのハードルを低くしていきます。

高学年になってから「英語教室」に通うのって、ハードルが高いもの。同学年の子供達が使っているテキストを見ても読めない・書けない。先生が言っている英語は分からない。クラスのみんなは分かっているのに自分だけ分からないのって、たまらない気持ちだと思います。高学年になると理解力が高いために、「分からない」事に対してもどかしさを感じると思いますが、でも安心して下さい。そんな日本の子供達の気持ちを熟知したベテラン講師が、楽しく、そして分かりやすく指導させていただきます。

中学の3年間って語学学習の黄金期だと思います。その時期に、英語嫌いになってしまうのは、あまりに、あまりに、あまりにもったいないし、これほど残念な事はありません。

中学で英語につまずきたくないと思われている高学年生は、まずは無料の体験レッスンをお試しください。

- ・ 日時 金曜日 午後5時40分～6時30分 (担当：育子先生)
- ・ 場所 あかしあ台教室
- ・ 受講料 5980円(消費税込み6600円)
- ・ 定員 8名

Homestay In America



今年の夏、思い切ってホームステイをしてみませんか？

ホームステイinアメリカは ボランティアホストファミリー宅でホームステイをしながら語学研修、アメリカ人学生達とディズニーワールドやユニバーサルスタジオ観光、アクティビティ、ビーチ英語合宿を通しての英会話実践時間を多く含む短期ホームステイ留学です。主催団体ホームステイ・インターナショナルは1993年より日本人学生(17～26歳)にホームステイ留学を提供し続けているNPO団体です。

【特徴】

1. 100%ボランティアの信頼できるホストファミリー宅でアメリカライフを体験
2. 語学研修だけではなく、ビーチ英語合宿などでアメリカ人学生達と英会話を実践する時間は100時間以上
3. アメリカ人学生達との終日観光はディズニーワールドやユニバーサルスタジオのメジャーなアトラクション
4. 観光とアクティビティ費用は全て込みで盛り沢山の企画なのに、値段はとてもおてごろ
5. 毎日の行動を共にする現地スタッフは、アメリカ人も日本人もバイリンガル。うまく英語でコミュニケーションがとれず困ったときでも心配なし！
6. 語学研修は少人数(1教師約5～8名受け持ち)
7. 温暖な気候とテーマパークを楽しむ世界各地からのゲストでにぎわう有名なパークスポット、オーランド(フロリダ州)を満喫！

高校生の参加希望者は英検準2級保持者で積極性があることが条件となります。

出発：2023年8月8日(火)～2023年9月9日(土)
申込締切：6月9日(金) 定員まであと数名です。



Happy Birthday



2月 & 3月のスクールカレンダー

黒で塗りつぶされた箇所は休校日です。

2月							3月						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4					1	2	3
5	6	7	8	9	10	11	4	5	6	7	8	9	10
12	13	14	15	16	17	18	11	12	13	14	15	16	17
19	20	21	22	23	24	25	18	19	20	21	22	23	24
26	27	28	29				25	26	27	28	29	30	31